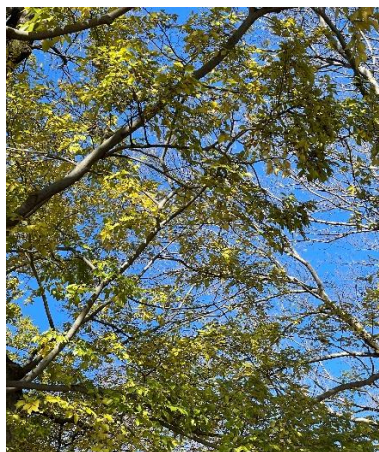


民間企業の発想と専門力で 三鷹を変革する！三鷹市議会議員

三鷹ウィークリーレポート
2025年1月 24 日



おばた 和仁

■おばた和仁(かずひと)
〒181-0012 三鷹市野崎1-1-1
三鷹市役所内 立憲民主緑風会
TEL 080-3046-0741(おばた)
Eメール smalfalg@gmail.com
HP <https://obatakazuhito.tokyo>



三鷹市議会 3 月定例会は、2/25～3/27 に開催されます

3 月定例会では、令和 6 年度予算について、予算審査特別委員会が設置され、約 1 週間、審議されます。

また、今回のおばたの一般質問は、次のテーマを検討しています。

- ① AI（人工知能）を活用した市民アンケートの分析と政策への反映について
- ② 孤立する市民と市内コミュニティを市民がつながり共助のまちづくりについて
- ③ 市役所食堂の運営上の課題と改善策について
- ④ 三鷹駅、調布駅間にLRT（ライトレールトランジット）の導入検討を！



■市民の声を大切に

よく、話しやすいと言われます。なにごとにも誠実に対応します！市政への要望など、お気軽にご相談ください。

■民間会社で豊富な経験

日本各地で、保険を通じたまちづくりに関わりました。民間企業の発想で、三鷹の課題に取り組みます。

■大学院で都市工学を専攻

専門性やエビデンスに裏打ちされたまちづくり政策を提案します。

■三鷹生まれ、三鷹育ち

私の原点は三鷹ですが、さまざまな地方で生活したことで、三鷹を客観的に見ることができます。

おばた和仁 プロフィール

■現在：三鷹市議会議員2期目、
まちづくり環境委員会(副委員長)、
(株)まちづくり三鷹(助言者委員)
NPO 法人三鷹ハンディキャブ(理事)

■これまで：三鷹幼稚園、南浦小、三鷹一中、
都立国立高校、横浜国大経済学部、
元東京海上日動火災保険(株)社員
東京大学大学院修了(都市工学修士)

■趣味：水泳、バンド活動(ドラム)、社交ダンスなど



立憲民主党

立憲民主党 立憲民主編集部 号外

〒101-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

電話 03-3595-9988 (代表)

三鷹の跨線橋を題材とした映画が公開！

映画の題名は、「橋と眠る」。1 月 24 日から杉並区の映画館で公開される。古びた跨線橋の街で、もがきながら生きる男とその家族の物語(東京新聞より)だそうだ。橋のすぐ近くに住む舞台俳優、神山てんがいさんが仲間とともに、約 3 年の年月をかけて撮影、制作した。

跨線橋は、ご存知の通り、老朽化から解体、撤去が決定したので、貴重な映像と言えそうだ。

映画の上映は、杉並区の Morc 阿佐ヶ谷で、24 日～30 日の午後 7 時 30 分から。

住宅などの防犯対策費用を助成！

ご存知の通り、昨年暮れ、市内で強盗未遂事件が発生した。犯罪の未然防止を図り、安全安心のまちづくりを進めるため、緊急対策として、住宅などの防犯対策のための助成制度「住宅等防犯対策補助金」が新設された。市内の住宅、店舗、事務所に設置した防犯カメラ、モニター付きインターホン、センサーアラームなどの設置費用が、実費の 2 分の 1 (上限 15,000 円)まで補助される。申請受付は、2 月 12 日(水)から始まるが、領収書に記載された日付が昨年 10 月 30 日以降の設置工事が対象となる。

チェンジ&チャレンジ ちょっと自慢したくなる我がまち・三鷹へ！

①すべての人が主役となるまち・三鷹

各地区のコミュニティセンターの法人化、小学校単位の地域運営組織づくり、IT を活用して市民へのアンケート結果に基づく政策決定や多くの市民が孤立した市民に必要なコミュニティへのつなぎ役となる新たな参加型まちづくりなどに挑戦します。

②子どもから高齢者まで、みんなが安心・安全のまち・三鷹

人権基本条例に基づいたまちづくりと通学路のゾーン 30 プラス化、大規模地震や水害対策、犯罪対策を強化するなど防災・減災のまちづくりに挑戦します。

③子どもを守り育てるまち・三鷹

画一的な授業を見直し、主体的に学ぶ力を育み個別最適な学びを実現します。また、いじめのない学校に全力で取り組みます。学童保育と地域子どもクラブの融合、幼稚園・保育所の質の向上にも挑戦します。

④賑やかに集うまち・三鷹

デマンドバスと LRT(次世代型路面電車)誘致をパッケージに、市内公共交通網を充実させマイカーが不要な便利なまちにします。また、JR 東日本と連携した三鷹駅前再開発による市内商業の活性化にも挑戦します。

⑤持続可能なまち・三鷹

市が誇る緑と水の環境を守ります。また、広域連携による安全な食料自給の確立、オーガニックな学校給食の実現、2050年カーボンニュートラルを目指した再生可能エネルギーの利活用推進にも挑戦します。